

## 編集 後記

2011年3月11日、千年に一度もといわれる大きな地震と津波が起り、東日本に大災害がもたらされた。東北地方から関東地方に至る広い範囲が未曾有の被害を受けたが、4月17日現在、被災の全容は完全には明らかになっていない。震災による原子力発電所の事故は、日本だけでなく全世界に不安を与え続けている。何よりもまず、東日本大震災で被災された方に謹んで心よりお見舞いを申し上げる。

公衆衛生を専門とする多くの方が、被災された方々に対して何かできることは無いかと考えているはずである。日本公衆衛生学会のWebページにおいても、2011年4月4日付けで實成文彦理事長が、「東日本大震災の対応について—被災現場および避難生活において求められる支援—」として、避難所や避難生活における課題、仮設住宅入居や遠隔地移住における課題、放射線被ばくによる健康影響に関する正しい知識の提供、被災地周辺地域あるいは遠隔地移住者の受け入れ自治体での公衆衛生課題という本学会としての見解を提示している。

今回の震災の被害は規模が大きく、必要とされることや課題は、地域や個々の方々の状況によっても異なり、経過とともに刻々と多様に変化することが想定される。また原子力発電所の事故に関連する被害も加わり、対応と支援は長期に亘ると考えられる。被災した方々が真に必要な支援を行うことが不可欠であることはいままでもないが、これに加えて放射線被ばくに関連する流言の防止なども公衆衛生学に科せられた重要な役割であろう。今後は、災害に対する様々な公衆衛生活動が実践されるであろうし、本誌には、そうした活動の成果が投稿される可能性もあるが、編集委員の一人として、研究とその公表に際しては、慎重な倫理的配慮を切に望む。

本号は、論壇、研究ノート3編、資料、連載3編という構成となった。編集委員会では、これまでと同様、厳正に査読を行っているが、編集に関するご意見は遠慮無くお寄せ頂きたい。なお本号も、震災の影響により発行期日が遅れたと聞き及んでいるが、この点に関しては何卒ご理解頂きたい。

(長田久雄)

## 次号予告 (第58巻・第5号)

### 原著

- 東京都の一地区におけるホームレスの精神疾患有病率  
 .....森川すいめい, 他  
 子どもを持つ両親の喫煙行動における社会経済的要因の関与について  
 .....久保秀一, 他  
 一般住民における地域社会への態度尺度の再検討と健康指標との関連  
 .....村山洋史, 他

### 研究ノート

- eHealth Literacy Scale (eHEALS) 日本語版の開発  
 .....光武誠吾, 他

### 資料

- 放射線災害を想定した地方自治体および保健所保健師の取り組みと認識  
 .....北宮千秋

### 連載

- 健康の社会的決定要因(13)  
 .....中出美代, 他  
 ヘルスサービスリサーチ(10)  
 .....松井邦彦  
 社会と健康を科学するパブリックヘルス(6)  
 .....大坪徹也, 他